

社会福祉法人 秀和福祉会 基本理念

社会福祉法人秀和福祉会の法人理念として「一樹の陰一河の流れ」をかかげています。「縁」で結ばれた人達が、ゆったりと楽しい日々が送れますように願っています。

令和3年度 秀和福祉会 実績

今年度も一昨年に引き続き、施設運営において「新型コロナウイルス」が大きく影響した一年となりました。

感染防止対策は、介護従事者にとって日常生活の一部となりました。体調管理、マスク・フェイスシールドの着用、手洗い、消毒などの基本的な感染対策を徹底し取り組むことにより、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生することなく、今年度を締めくくれた事に安堵しております。

しかしその反面、感染防止対策を徹底すればするほど、面会の中止や、ご入居の外出制限、ご利用者の受け入れ制限等を行わざるを得ない状況となり、ご入居者、ご家族には多大なご不便をかけてしまうこととなってしまいました。

どのような状況下においても、利用者の健康、生活を守り抜く、当法人の社会的役割を認識し、職員一丸となりこの一年取り組んで参りました。しかし2年以上も続くコロナ禍はご入居者の生活、身体機能に大きな影響、負担をかけていることは明らかであり、この状況下の中、ご入居者のニーズに寄り添い、今私達に何が出来るのかを、日々悩み奮闘し続ける一年となってしまいました。そしてこれからも続くこの状況下の中、今後もご入居者の為に当法人の社会的役割を再再認識し、より一層の努力をしてみたいと思います。

介護老人福祉施設ゆうわ

今年度の稼働率におきましては、平均稼働率 95%、平均介護度 4 を維持することができました。一昨年から継続している専門職ミーティングの開催を、今年度はより一層密にし、専門職同士の意見や思いを直接伝えあい、内容を充実化することにより、ご利用者様の些細な変化に気づき、体調不良等による空床期間の短縮が行えました。

長引く外部との接触制限がある中で、やはりご入居者の不安感やストレスは日に日に大きくなり、その不安感やストレスをどのように解消するのかが今年度の大きな課題となり

ました。毎月のユニット会議にて、個別の対応、支援方法について話し合い、外の空気が吸いたい、美味しいものが食べたい、家族に会いたい、もっと話を聞いてほしいなどのご利用者の声に耳を傾け、できる限り寄り添い対応して参りました。

その一環として、コロナ禍でも出来るレクリエーションや行事を充実させ、実施することで、一時でも楽しむ時間、空間を職員と共有し、ご入居者の満面の笑顔を引き出す事ができたと感じます。

また、今年度は感染防止対策を徹底し、委員会、研修等を毎月開催いたしました。顔を合わせての会議は、職員のモチベーションに繋がり、職員同士のより良い意見交換、思い、意識の統一に繋がったと感じます。直接意見を言い合う場の大切さを改めて実感し、この状況化を乗り越えようという職員間の一致団結となり、より良い支援に繋がることとなりました。

コロナ禍において、たくさんの制限等があるなか、介護の基本である、寄り添う事、傾聴することの大切さを痛感し、またその重要性も再認識する機会に繋がりました。当たり前が当たり前ではない時代に、一つひとつ今出来ることは何かを考え、取り組み、ご入居者の満足度に繋げて行けるよう今後も努力して参ります。

未だ新型コロナウイルスが収束するめどが立たない状況ではありますが、基本を忘れず、ご入居者、家族様が安心して過ごせる環境を整えて参りたいと思います。

ショートステイゆうわ

今年度も大きく新型コロナウイルスの影響を受け、稼働率が昨年よりも低迷するという結果になってしまいました。ロングステイ利用の受け入れや、リピーターの確保に務めまいりましたが、相談員の入退職等が重なり、ショート自体の基盤が定まらず、安定した稼働率とはならず年度末を迎える事となってしまいました。

取り組みとしましては、今年度、ショートステイゆうわとしての感染対策マニュアルの見直しを実施しました。感染状況による受け入れ基準や、感染防止対策の徹底を行いました。ご利用頂いた方々に、安心して過ごして頂く環境を整える事が出来たと感じております。

利用者像の多様化と重度化が進行し、介護職のスキルアップと利用者の多様なニーズに対応できる体制を整える事が、現在のショートステイの課題であり、稼働率を伸ばす第一歩であると認識しております。

今後もより一層、ショートステイとしての社会的役割を認識し、地域で必要とされるショートステイを目指し、切磋琢磨し安定した稼働率につなげて参りたいと思います。

有料老人ホームゆうわ

令和元年に増床した10床の受け入れについては、職員確保に困難をきたし、今年度もいまだ受け入れが行えていない状況が続いております。引き続き採用活動に尽力を尽くすと同時に、現状の人員でも、どのようにすれば受け入れが可能かをスケジュール化し、本腰をいれ勧めていきたいと思っております。

一昨年度、ご入居者ひとりひとりのオンリーワンなケアプランを作成していくという目標を立て実行して参りました。今年度も引き続き専門職一丸となりその目標を達成すべく取り組んで参りました。それぞれのご入居者に職員担当をつけ、センター方式を活用することにより、より深くご入居者の事を知る機会となり、新たな発見や、些細な変化に気づくことが出来ました。かゆいところに手が届く介護を今後も目指し、まだまだ完成形ではありませんが、オンリーワンのケアプランを作成、実行していきたいと思っております。

また、介護老人福祉施設と同様、2年以上も続くコロナ禍で、ご入居者の生活は大きく変化し、精神面、身体面に大きな影響を及ぼすこととなりました。少しでも身体機能の維持が行えるよう、理学療法士が中心となり、日常の中で実施できるリハビリなどを取り入れる事により、身体機能の維持、向上となり、ご入居者の満足度に繋がったと実感しております。

家族様に対しても、リモート電話の活用、毎月の写真送付、LINE を使用しての状態報告などを実施し、会えなくても不安を感じる事なく、詳細に状況がわかる環境を整える事ができました。

引き続き感染対策を徹底すると同時に、ご利用者からここに入居して良かったと言って貰える施設を目指し、より一層の努力を重ねて参りたいと思っております。

デイサービスセンターゆうわ

今年度もコロナ感染防止対策に重点を置きながら無事、感染者を1人も出すことなく営業を続けることができました。コロナ禍での新規様受け入れは前年度に引き続き中止にしておりましたが、問い合わせ数は減少することなく、今年度だけでも70件近くにのぼりました。コロナ禍による通所介護へのニーズの高さに驚きつつ受け入れできない状況にやるせない思いでおりました。また、今年度は施設入所となる利用者様も複数名おられ、稼働率減少となりましたが、それでも平均80%をキープすることができましたのは、おひとりあたりの利用回数が増えたことによるものだと実感しております。前年度に比べ、利用控えされる利用者様もおらず、マスクにも慣れ、ソーシャルディスタンスにも慣れた利用者様、職員が工夫しながら関わって楽しんでいただけた一年であったように思います。

ケアハウス グリーンシティー秀和

ケアハウスの実績については、令和 2 年度から継続して入院・退去が多い状況となっています。令和 3 年度は合計 8 人の退去があり、平均稼働率は 82.5%程度と前年度と比較して低下しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、入居相談や施設見学が少ない状況が続いているため、令和 3 年 4 月に近隣の地域包括支援センターを訪問して、ケアハウスに興味のある方を紹介していただくよう依頼をしました。また、ケアハウス見学相談に来られた方に、ケアハウスで対応可能な部分を丁寧に説明する事で、入居促進に務めました。

令和 3 年度のケアハウスの取組みについては、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に、施設内の消毒をする継続して入居者が安心して生活ができる施設環境を整えました。また、むつみ会の資料配布と合わせて感染用品の配布を行い、感染予防に努めるよう入居者に声を掛けました（アルコール消毒スプレー、除菌シート）

ケアハウスでの季節の行事については、感染拡大防止のため中止をしていましたが、大阪府内での新型コロナウイルス感染者が減少している期間に合わせて、8月にオンラインツアー・9月にカラオケ大会の行事を実施しました。

ケアプランセンター秀和会

令和 3 年度は職員 2 人体制での運営をしました。

ケアプランセンターの実績については、職員 1 人当たり 1 件/1.5 カ月を目標に新規契約を進めていましたが、利用者の入院、施設入所もあり平均稼働率 70%となっています。

職員の感染予防対策を徹底して、新規利用者の問い合わせがあれば積極的に契約しました。

つどいの広場秀和

つどいの広場の実績としては、令和 3 年度は約 4000 人の子育て親子の利用がありました。令和 3 年度は大阪市より開設指示があり、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言（8/2～9/12）が発令している間も、感染拡大防止に注意をしながら開設しました。

感染拡大防止策については、利用時間の入替毎におもちゃの入替、館内や備品の消毒を実施しています。また、手洗いを推進するため公益財団法人 JKA 補助事業を活用して、館内の水栓を自動水栓に交換しました。

つどいの広場秀和は、以下の 3 つの時間に分けて完全入替制で開設しています。

- ① 9 : 30～10 : 40
- ② 10 : 50～12 : 00
- ③ 13 : 15～15 : 15